

【なかまに入れて】の展開

過程	児童の活動	主な発問と指示()や児童の反応・行動()	指導上の留意点
導入	1 質問じゃんけんをする	<p>今から“質問じゃんけん”というものをします。隣の人とペアを作ってじゃんけんをします。勝った人は負けた人に1つだけ質問することができます。(好きな食べ物,好きなテレビ番組,得意なこと...など)</p> <p>負けた人は,質問に答えてください。質問に答えたら,またじゃんけん 質問を繰り返します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が聞かれていやだと思ふようなことは質問しないということをみんなですべて確認する。
インストラクション	2 本時の学習を知る(どうしたら遊びのなかまに入れるのか考えて,行動する)	<p>今まで,休み時間にひとりぼっちになったことある人?(何人が手を挙げたら...)そのときはどんな気もちでしたか?</p> <p>いっしょにあそびたいな...</p> <p>どうしたら,なかまに入れるのかな...</p> <p>だれかさそってくれないかな...</p> <p>では,1人で遊んでいる子が仲間に入るにはどのように行動したらよいでしょう?ワークシートに書いてみましょう。</p> <p>「ぼくも入れて」と言う</p> <p>にっこり笑って近づく</p> <p>仲間に入るための行動がたくさん考えられましたか?どんなことがあるか発表してください。発表してくれた意見を見てみると,“言葉”と“態度”に分けられますね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ひとりぼっちでいる人は,どうしたら仲間に入れるかな」という問題意識をもたせる。 言葉での表現や,態度面などを分けて考えさせる 短冊を動かして分ける。 獲得目標のスキルである,相手に近づく 相手をきちんと見る 明るい声で言う 笑顔で言うをここで確認しておく。
モデリング	3 教師のモデルを見て仲間に入るときの行動を考える	<p>では,先生が仲間に入る子になってやってみます。上手にできているか見ていてください。あとで,よかったところや,こうした方がもっといいよと思ったところなどを教えてください。</p> <p>どうでしたか?よくできていたところはどんなところですか</p> <p>もうすこし~するともっといいと思うところはどんなところでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを4~5人指名し遊ばせる 上記のスキルのうち2つほどできている例をやってみせる。 他者へのフィードバックの仕方について教える。
リハーサル	4 グループに分かれて練習する	<p>では,グループに分かれて仲間に入る練習をしてみましょう。3人で遊んでいるところへ,他の1人が仲間に入るということにします。先ほどのアイデアをうまく使って,ことばかけをしてみましょう。遊んでいる人たちはなんと答えてあげればよいでしょうか?</p> <p>グループに分かれての練習はどうでしたか?うまくできたところと,もうすこし頑張ったほうが良かったところをプリントに書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引っ込み思案な子どもは,教師がそばについてアドバイスを送る 仲間に入りたい友達がいたら「いいよ」「おいで,おいで」などの言葉で返すことを確認しておく

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">フィードバック</p>	<p>5 本時の学習を振り返る</p>	<p>お友達のいいところに気付いたら、優しく教えてください。</p> <p>仲間に入りたいときの言葉かけをして、友達に「いいよ」と言われたときは、どんなきもちがしましたか？」</p> <p>仲間に入るとき、どのような言葉や行動をとればいいのか練習できました。さっそく休み時間にやってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰りの会などで「遊びに入れてくれてありがとう」などの発表をさせ、スキルの定着を図る。
--	---------------------	---	--